



2020年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年6月12日

上場会社名 株式会社ウエスコホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6091 URL https://www.wescohd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山地 弘
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 藤原 身江子 TEL 086-254-6111
 四半期報告書提出予定日 2020年6月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

1. 2020年7月期第3四半期の連結業績（2019年8月1日～2020年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第3四半期	9,318	17.7	1,355	54.2	1,409	52.2	862	△14.5
2019年7月期第3四半期	7,917	1.0	878	8.7	926	5.1	1,008	33.1

(注) 包括利益 2020年7月期第3四半期 797百万円 (△15.0%) 2019年7月期第3四半期 937百万円 (24.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第3四半期	57.22	—
2019年7月期第3四半期	66.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年7月期第3四半期	20,604	14,355	69.7
2019年7月期	18,251	13,784	75.5

(参考) 自己資本 2020年7月期第3四半期 14,355百万円 2019年7月期 13,784百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2020年7月期	—	0.00	—	—	—
2020年7月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年7月期の連結業績予想（2019年8月1日～2020年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	2.5	800	7.5	830	0.6	500	△46.9	33.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年7月期3 Q	17,724,297株	2019年7月期	17,724,297株
② 期末自己株式数	2020年7月期3 Q	2,657,599株	2019年7月期	2,657,283株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年7月期3 Q	15,066,859株	2019年7月期3 Q	15,067,449株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。上記業績予想に関する資料は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（その他特記事項）

該当事項はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、幅広い業種において大幅な業績の下方修正が発生しております。また、世界規模的な感染の拡大により、今後も消費やサービス需要、人的交流等について、深刻な影響を与える事が予想され、景気の先行きは不透明な状況にて推移いたしました。

このような経済環境のなか、当社グループを取り巻く市場環境におきましては、当社グループの主力事業である総合建設コンサルタント事業における公共投資予算は、国土強靱化に基づく整備のための補正予算の成立等により堅調に推移しております。

なお、現時点において、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う事業への影響は軽微であると予想しておりますが、今後の状況によっては、当社グループの経営成績および財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は93億1千8百万円（前年同四半期比17.7%増）、損益面におきましては、営業利益は13億5千5百万円（前年同四半期比54.2%増）となり、経常利益は14億9百万円（前年同四半期比52.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億6千2百万円（前年同四半期比14.5%減）となりました。

なお、当社グループの主力事業であります総合建設コンサルタント事業は、その受注の大部分が官公庁からのものであり、受注業務の納期は官公庁の事業年度末である3月に集中しております関係上、当社グループの売上高は第3四半期以降に集中する傾向があります。また、水族館運営事業においては、春季・秋季の行楽シーズンおよび夏休み期間に来園者数が多いことから、売上高についても第1四半期および第4四半期に多くなるといった季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ23億5千2百万円増加し、206億4百万円となりました。

流動資産については「現金及び預金」が16億1千8百万円、「未成業務支出金」が9億2千3百万円それぞれ増加しております。これは当社グループの主体である総合建設コンサルタント事業の売上高が、主要顧客である官公庁の事業年度末である3月に集中するため、入金についても同時期に集中することから「現金及び預金」が増加しております。結果として、流動資産合計では前連結会計年度末に比べ23億7千9百万円の増加となりました。

固定資産については、減価償却の実施等により「有形固定資産」が7百万円減少しております。また、投資その他の資産「その他」に含めております「出資金」が2億1千1百万円増加し、公社債等の時価評価額等が減少したことにより「投資有価証券」が2億3千4百万円減少しております。結果として、固定資産合計では前連結会計年度末に比べ2千6百万円の減少となりました。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ17億8千1百万円増加し、62億4千8百万円となりました。

流動負債については、「業務未払金」が1億3千万円減少し、「その他」に含めております「未払金」が13億5千万円、「未払費用」が1億6千7百万円それぞれ減少しております。また、「未払法人税等」が3億1千2百万円、「未成業務受入金」が31億4千4百万円それぞれ増加しております。結果として、流動負債合計では前連結会計年度末に比べ17億5千7百万円の増加となりました。

固定負債については、「その他」に含まれております「リース債務」が5千4百万円増加しております。また、投資有価証券の時価評価差額が減少したことにより、「その他」に含めております「繰延税金負債」が2千8百万円減少しております。結果として、固定負債合計では前連結会計年度末に比べ2千4百万円の増加となりました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億7千万円増加し、143億5千5百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上および配当金の支払により、結果として、「利益剰余金」が6億3千6百万円増加し、有価証券及び投資有価証券の時価評価額の減少に伴い「その他有価証券評価差額金」が6千5百万円減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、2019年9月13日の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました連結業績予想数値に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大による事業への影響は、当社グループの主力事業である総合建設コンサルタント事業は、一部の業務において、契約工期の変更等が発生しておりますが、件数・金額ともに業績に与える影響は軽微なものであると予想しております。

一方で、スポーツ施設運営事業・水族館運営事業においては、部分的に施設の営業の自粛や、営業時間の短縮等の施策を行っており、今後の経過によっては、当社グループの経営成績および財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

今後の動向を注視し、通期業績予想の修正が必要であると判断した場合には、すみやかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,451,162	8,069,537
受取手形及び完成業務未収入金	940,091	466,333
有価証券	799,769	1,099,813
商品	3,505	4,305
未成業務支出金	2,051,409	2,974,453
原材料及び貯蔵品	19,276	19,410
金銭の信託	400,000	400,000
その他	225,679	235,929
貸倒引当金	△5,937	△5,307
流動資産合計	10,884,957	13,264,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,217,298	1,193,328
土地	1,907,367	1,907,367
その他(純額)	407,469	423,643
有形固定資産合計	3,532,135	3,524,339
無形固定資産		
無形固定資産	150,443	141,539
投資その他の資産		
投資有価証券	2,686,482	2,452,299
その他	1,000,343	1,224,444
貸倒引当金	△2,648	△2,471
投資その他の資産合計	3,684,178	3,674,272
固定資産合計	7,366,757	7,340,151
資産合計	18,251,715	20,604,628

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
負債の部		
流動負債		
業務未払金	739,502	608,885
未払法人税等	206,040	518,945
未成業務受入金	1,036,860	4,181,609
受注損失引当金	7,780	2,219
その他	2,253,457	689,367
流動負債合計	4,243,641	6,001,026
固定負債		
資産除去債務	50,059	50,542
その他	173,114	197,194
固定負債合計	223,173	247,736
負債合計	4,466,814	6,248,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	400,000	400,000
資本剰余金	9,802,318	9,802,319
利益剰余金	4,146,230	4,782,455
自己株式	△670,503	△670,641
株主資本合計	13,678,045	14,314,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,855	41,731
その他の包括利益累計額合計	106,855	41,731
純資産合計	13,784,900	14,355,864
負債純資産合計	18,251,715	20,604,628

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)
売上高	7,917,515	9,318,965
売上原価	5,515,978	6,371,047
売上総利益	2,401,537	2,947,918
販売費及び一般管理費	1,523,044	1,592,918
営業利益	878,492	1,355,000
営業外収益		
受取利息	11,415	10,583
受取配当金	10,976	31,375
投資有価証券売却益	8,168	17,194
受取地家賃	13,259	13,211
売電収入	3,783	3,756
その他	14,801	25,278
営業外収益合計	62,405	101,398
営業外費用		
投資有価証券売却損	1,583	11,440
賃貸費用	1,510	1,540
売電費用	1,993	1,850
匿名組合投資損失	9,346	31,737
その他	228	255
営業外費用合計	14,661	46,823
経常利益	926,236	1,409,575
特別利益		
訴訟損失引当金戻入額	396,736	—
特別利益合計	396,736	—
税金等調整前四半期純利益	1,322,973	1,409,575
法人税、住民税及び事業税	314,222	547,344
四半期純利益	1,008,750	862,230
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,008,750	862,230

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)
四半期純利益	1,008,750	862,230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71,403	△65,124
その他の包括利益合計	△71,403	△65,124
四半期包括利益	937,347	797,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	937,347	797,106
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて法人税等を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。